

植物油塗料のレシピ

<このキットで2㎡を2回塗れる量が出ます>

塗れるところ 柱・床・壁・ドア・窓枠、木製玩具、
木製工芸品、木製家具、机、椅子
屋外：木製扉、戸格子、ログハウス
木製収納庫、ウッドデッキ、犬小屋

材料・道具

材料： ① 主成分：煮亜麻仁油（乾性油） 30g
② 主成分：ヒマワリ油（半乾性油） 15g
③ 溶剤：テレピン油 90g
④ 顔料：無機粉末顔料 こげ茶 10g
⑤ 添加剤：乾燥剤（オクチル酸コバルト） 1cc

道具： ① 200ccポリカップ 1個
② 計量スプーン 1本
③ 刷毛 1本
④ 研磨紙（#400） 1枚

作り方・調合

①顔料をスプーンでポリカップにあげ、そこにヒマワリ油を少しづつ入れ刷毛で顔料が分散するよう練ります。
顔料の添加量（目安は出来上がり塗料に対し重量比5%～10%）で色の濃淡を調整します。最初は薄めに作りテスト塗り後に顔料を加えて頂いても大丈夫です。

②ペースト状になったら残りの植物油（ヒマワリ油・煮亜麻仁油）とテレピン油を全量入れ混ぜます。
③乾燥剤を全量入れかき混ぜて完成です。

塗り方

①塗装面のゴミやほこりを取り除き、研磨紙（#320～400）で研磨します。
塗装前木面の準備が大切です。旧塗膜などが残っている場合は研磨し、はく離させた上で清掃し、乾いた状態であることを確認して下さい。
②木目に沿って、刷毛で塗して下さい。
③乾燥時間は乾燥剤を使って1日です。
④2回程度の重ね塗りをお勧めします。
⑤ご使用後の刷毛・器材はラッカー薄め液で洗浄して下さい。

特徴・豆知識

植物油は空気中で乾き塗膜となる乾性油といつまでも固まらない不乾性油とその中間の半乾性油に分類されます。オイル仕上げ塗料には桐油以外の乾性油を1種類ブレンドして下さい。
植物油の分類は商品ラベルにも記載されておりますが、御参考までに右上に分類表を掲載しました。ヨウ素価130以上の植物油が乾性油と呼ばれます。
植物油の自然乾燥には大方1ヶ月ほど要します。そのため、実用性から乾燥剤の添加が一般的に必要となります。

植物油一覧表

製品名	ヨウ素価	用途
亜麻仁油	175～200	乾性油
荳胡麻油	198～203	乾性油
オリーブ油	75～90	不乾性油
桐油	160～173	乾性油
クルミ油	138～152	半乾性油
コーン油	105～130	半乾性油
ゴマ油	103～118	半乾性油
紅花油	122～150	乾性油
煮亜麻仁油	125以上	乾性油
大豆油	114～141	半乾性油
椿油	81～89	不乾性油
菜種油	99～104	半乾性油
パーム油	43～60	不乾性油
ヒマシ油	81～91	不乾性油
ヒマワリ油	125～136	半乾性油
綿実油	108～120	半乾性油
ヤシ油	7～16	不乾性油
落花生油	82～109	不乾性油

諸注意

植物油の選択について。
桐油は硬化膜を形成するため塗装表面がボソボソになってしまう事があります。
桐油以外の乾性油をお選び下さい。
選定条件は植物油の粘度、乾燥時間、色目、臭い、塗布後の変色、価格などが上げられます。
屋外でご使用の場合は亜麻仁油変性オイルをお使いください。